

令和4年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	総和地区スポーツ施設	施設所管課	教育部スポーツ振興課		
指定管理者名	古河市地域振興公社・日本スポーツ振興協会グループ	指定期間 (評価実施年)	令和4年4月1日 (指定期間)	～ 5年	令和9年3月31日 (うち 1年目)
施設設置目的	市民の健康づくり、余暇・スポーツ・レクリエーションの場として、また、地域防災計画の災害時の避難場所として幅広い年齢層から利用されている本施設は、市民の憩いの場、家族のふれあい、スポーツを始めるきっかけづくりや競技力の向上を目的とした施設です。				
主な実施事業	施設の維持・管理運営に関すること				

●実績報告

開館・ 開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
345	259,274	69,637	10,939	172,000,000	212,394,041	219,402,997	▲7,008,956	

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容				
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント	
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	他施設で得たノウハウなどを生かした運営に努めるとともに、条例・仕様書等の規定を遵守した管理運営を行いました。利用制限等により、収入は厳しいものとなりましたが、損失補償をいただいたこともあり、代表団体からの繰入金を抑えることができました。	A	他施設でのノウハウの活用や規定の遵守を継続しながら、財務状況の改善に努めていた。収入を増やすための新たな収益源の開拓やコスト管理の見直しをしつつ、持続的な運営を目指す努力をしていた。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている ・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である	A	利用時間・開館日は協定書を遵守しておりますが、温水プールの繁忙期は時間を延長して営業しております。様々な周知については、市広報誌への掲載・公式ホームページ・ポスター掲示などでの情報提供をしております。	A	管理運営の基本的事項については、基本協定・年度協定及び仕様書を遵守しており、公平性の確保に努め、利用者の意見を反映した取り組みを行っていた。
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている ・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている	A	お客様とのコミュニケーションを大切にし、利用者アンケートを実施し、意見の収集を行いました。収集した様々なご意見を参考に運営方法の改善に努めました。利用者からの苦情等があった場合は、状況を把握し、迅速かつ丁寧な対応を心がけております。苦情については報告書を作成し、対応内容を記録しております。	A	利用者とのコミュニケーションを大切にし、アンケートや苦情の収集を定期的に行うことで、情報を適切に分析し、改善点を挙げつつ、利用者の満足度向上に向けた取り組みを継続し、施設の質の向上を図っていた。
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である ・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている	A	個人情報保護マニュアル、個人情報に関する内規が策定されており、これらを遵守するよう徹底しております。また、情報公開規程も策定されています。	A	個人情報の取扱いについては、適切に管理されており、職員についてもマニュアルを遵守し運用されている。
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている ・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している	A	利用者の安全確保のために、日常的に点検を行うとともに、専門部分の点検は、各種専門業者に依頼し、定期点検を行っています。異常が見つかった場合には、立入禁止にするなど早急に対応するよう努めています。万一の事故等に備え、救命訓練及び避難誘導訓練を実施しております。	A	日常的な点検から専門的な点検に関して適切に実施されており、利用者が安全に施設を利用できることを優先に施設運営をされていた。また、消防法等に基づき避難訓練も適切に実施されていた。
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている	A	「事故・災害等発生時対応マニュアル」「感染症に対する危機対策マニュアル」等が策定されています。	A	事故・災害等に対応できるよう、マニュアルが策定されており、利用者の安全確保及び危機管理体制

		<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている 		<p>す。緊急時連絡表を事務室内に掲示し、連絡先を明確化し、迅速に対応できるよう努めています。</p>		<p>制が構築されている。</p>
3. 管理運営体制	人員体制	<p>管理運営内容と整合した職員体制がとられている</p> <p>必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている</p> <p>人件費の設定は適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している 	A	<p>運営に必要なとされる資格(防火管理者、プール衛生管理者、日本赤十字社水上安全法救助員、普通救命講習修了者、公認体育施設管理士等)を所持した人員を適正に配置しました。雇用条件や給与などの規程については必要に応じて修正し、労働基準法等関連法令を遵守するよう努めています。</p>	A	<p>人員体制については、運営に必要な資格者などを配置し、人材育成のための研修会等を行っており、適正に運営されている。</p> <p>また雇用条件や給与規程を見直すことで運営の質と安全性を向上させることにつながっている。</p>
	人材育成	<p>職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている 	A	<p>コロナ禍の影響で、予定していた外部研修への参加は見送りました。代表団体が企画している各種研修(メンタルヘルス研修、熱中症予防セミナー、コミュニケーションスキルアップ研修、交通安全講習など)へ参加し、職員の資質向上等に努めました。</p>	A	<p>コロナ禍により研修の実施等が難しい中、職員の資質向上に向けて積極的な人材育成に取り組んでいた。</p>
	施設の維持管理	<p>施設の機能維持、物品管理の方策は適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している 	A	<p>日常及び定期清掃、保守点検を実施し、施設の維持管理に努めております。指定管理者として対応が難しいことについては市に報告し、協議等を行いました。プールにおいては「プールの安全標準指針」、「遊泳プールの衛生基準」などに基づき、安全衛生管理に取り組んでおります。</p>	A	<p>維持管理については、施設および設備の老朽化等により、安全管理に苦慮していると思われるが、利用者の安全確保を最優先として施設の安全管理に努めている。また、各種点検および施設の不備箇所についても市への報告が速やかに行われていた。</p>
	業務委託	<p>再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である</p> <p>再委託業務の成果確認の方法は適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している 	A	<p>専門性の高い業務等は、事前に市の承認を受けてから再委託を行うとともに、その業務が適正に行われるよう管理監督を行っております。また、再委託する場合、原則として複数業者より見積もりを取るよう努めています。</p>	A	<p>再委託の委託方法及び委託先等は適切であった。</p>
	広報・PR	<p>利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である</p> <p>魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している 	A	<p>自主事業や利用促進の教室開催など、情報発信は公式ホームページを利用し行うとともに、ポスターやチラシを作成し、館内での配布や市広報誌への掲載などを行いました。</p>	A	<p>情報発信について、各種媒体を利用し、利用者数の増加を見込んで、効果的なPRに努めていた。</p>
4. 施設の効果的活用	施設の活用	<p>施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる 	A	<p>自主事業や利用促進教室の実施及び温水プールではお子様を対象とした「キッズ・ポイントカード・キャンペーン」を実施しました。コロナの影響は残りましたが、利用者拡大に努めました。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、当初の計画通りとはいかなかったものの、可能な範囲での実施に努めていた。</p>
	経費削減・収支バランス	<p>経費削減のための方策は、無理がなく実現可能なものである</p> <p>設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている 	A	<p>利用料収入は利用制限等により、計画に対して大きく下回ることとなりました。修繕費については、約 50 件の修繕を行い、予算額である 230 万円を執行しました。経費削減については、サービスが著しく低下しない範囲で節電、節水等を行いました。指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしておりますが、代表団体の会計から繰入を行いました。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症対策にともなう利用制限により施設修繕料の減少がみられた。修繕件数について、修繕箇所が多くなっている中、多大な運営努力をしてきた。</p>
5. 効率性						

【評価基準】

SS	優良:仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良:仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通:仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分:仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備:仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	<p>本年度の利用料金収入は 30,683 千円となり、予算額 45,165 千円に対して約68%と大きな減収となりました。主な理由としては、新型コロナウイルス感染症による利用者減が十分に回復できていないこと、中央運動公園テニスコートと丘里球場の夜間照明関係の不具合及び陸上競技場改修工事に伴う休止があったこと、国及び各種競技団体と古河市スポーツ施設の利用ガイドラインにおいての屋内施設の利用制限があったこと等があげられます。最終的には、施設改修及び利用制限に伴う損失補償として 8,159 千円を補填いただいたこともあり、自主財源の繰入金は当初予算の 17,082 千円から約 7,008 千円とすることができました。</p> <p>教室等の開催につきましては、感染拡大防止対策を行いながら、中央運動公園体育館武道場と温水プール及び多目的室等において、利用促進事業 78 教室延べ 11,753 人、自主事業 10 事業延べ 170 人に受講いただきました。</p> <p>温水プールにおいては、利便性の向上のために、繁忙期の利用時間延長、7.8 月の入替回数の削減や夜間の部における利用料金の減額など、本年度も引き続き行いました。</p> <p>施設の維持管理につきましては、条例・仕様書等の規定を遵守し、安全管理や水質管理等の衛生管理を行い、安全で安心な利用環境の提供に努めました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、検温、マスクの着用、手洗い消毒等を利用者へお願いし、管理者としては利用人数の制限、施設内の消毒、利用方法の注意喚起などを行いました。利用制限の見直しも一部行い、お客様が利用しやすい施設運営に努めました。</p> <p>翌年度に関しては、今年度同様に様々な状況に適切に対応し、お客様に安全、安心な施設利用を提供することを最優先にしつつ、様々なアイデアを出しあい、利用料の増収と経費削減に取り組めます。施設老朽化による改修及び修繕及び不要備品の処理も継続した重要課題となりますので、市と連携しながら最善を尽くして行きたいと考えます。</p>
-------	---

所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	<p>本年度の利用料金収入が予算額に対して約 68%と大幅な減収となったことは、コロナウイルス感染症による利用者減や施設の不具合及び利用制限などの要素が多分に影響していると考えられ、外的な要因があった。</p> <p>教室等自主事業の開催については、感染拡大防止対策を行いながら実施できていた。また、サービス向上及び経費節減について、通年において企業努力しており、利用者の利便性および利用促進に繋がっていたと思われ、効果的なPR活動、実施内容の充実化等、計画推進に努めていた。</p> <p>施設の維持管理については、規定を遵守し、安全管理や衛生管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症防止に対して、様々な対策を講じ運営をしていた。</p> <p>施設の老朽化による改修や修繕、不要備品の処理など課題は多岐にわたってきているが、全体的に市と連携を図りながら最善の策を講じていた。</p>

【施設所管課チェックシート】

●業務報告書【毎月終了後 10 日以内に施設所管課に提出】

業務報告書	年月	令和4年4月 業務分	5月 業務分	6月 業務分	7月 業務分	8月 業務分	9月 業務分	10月 業務分	11月 業務分	12月 業務分	令和5年1月 業務分	2月 業務分	3月 業務分
	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指導等	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

●実地調査【半期に1度(年2回以上)・随時】

実地調査	時期	実施年月日	内容	所管課調査職員	所管課所見	改善指導等
	上期	令和4年10月7日	定期実地調査	鶴見 由加里 山中 和也	実地調査票のとおり	
下期	令和5年3月8日	定期実地調査	鶴見 由加里 山中 和也	実地調査票のとおり		

●事業報告書【年1回(毎事業年度終了後 60 日以内に施設所管課に提出)】

提出日	令和5年5月30日	改善指導等	
-----	-----------	-------	--

●アンケート実施報告書【年1回以上】

提出日	令和 5年 1月31日	実施概要	<p>実施期間 令和 4年 8月 1日～令和 4年11月30日</p> <p>調査方法 受付にてアンケート用紙を手渡し、利用者本人が記入し回収箱で回収</p> <p>調査対象 総和地区スポーツ施設利用者</p> <p>調査結果 別添「利用者アンケート実施報告書」参照</p>
-----	-------------	------	---

●安全管理報告【随時】

報告日		内容・対応	